



# 青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38  
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

奥入瀬  
せせらぎ 体感  
プロジェクト  
8.24~25

## クルマを使わず 静かな溪流を感じよう



遊歩道沿いの車道では、渋滞が発生



溪流沿いの遊歩道で、大自然の息吹を体感

現在、当事務所では「青楓山バイパス(トンネル)」の整備を進めていますが、バイパス完成前の奥入瀬溪流の環境改善への取り組みとして、「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」と題して、溪流区間を通行する車両に対して広域迂回や自発的に車両通行を控えていただく取り組みを行います。

# 奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト

日時: 2019. 8. 24(土)・25日(日) 10:00~14:00

場所: 国道102号奥入瀬溪流区間(惣辺交差点~子ノ口交差点)

- 交通規制ではありません。自発的に車両通行を控えていただくことをお願いするものです。
- 参加される方は駐車場(焼山)に車を停めていただき、シャトルバス(有料)を利用して奥入瀬溪流の散策を楽しむことができます。(焼山⇄休屋 20分~30分間隔で運行)
- 「十和田西高等学校観光科」等による溪流の無料ガイド、焼山や休屋地区等の商業施設での商品割引等、ミネラルウォーターの配布などを予定しております。
- 奥入瀬溪流、十和田湖の周遊促進のためのスタンプラリーを行います。

プロジェクト参加者の特典  
▼溪流の見どころ案内ガイド▼  
(写真: 昨年度実施時)



おいらせ 奥入瀬 せせらぎ 体感プロジェクト

▼情報はここから CLICK

「奥入瀬の青風景」を守る輪を広げよう! まずは、あなたの一歩から。 詳細はこちら

遊歩道沿いの車道では、  
渋滞が生じている。

車での観光が増加し、  
風情や音環境に問題が…。

奥入瀬溪流は「残したい日本の音風景 100 選」  
の1つ。しかし、溪流・遊歩道・車道が並ぶ至便性  
から、車の増加による渋滞や、音環境の悪化がみら  
れます。

『奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト』の目的は、  
残すべき本来の環境を、皆さまとともに復元して  
体感すること。溪流の入り口では、車を停めて、  
代替交通手段を利用しながら、足で、耳で、溪流の  
メッセージを聴きとってください。

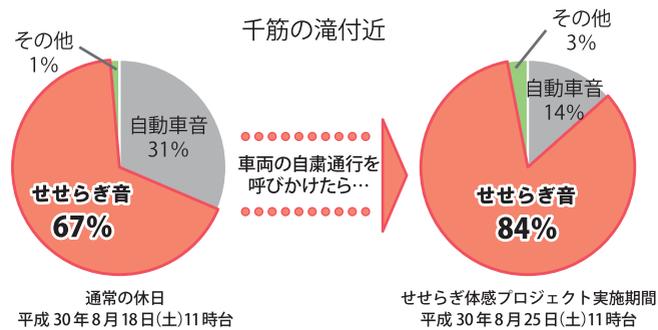
8月 強化月間

8月を強化月間として、溪流区間  
内での駐停車抑制の呼びかけや、  
仮設トイレの設置を行います。

## 今年の調査結果



せせらぎの音が17ポイントも増えました

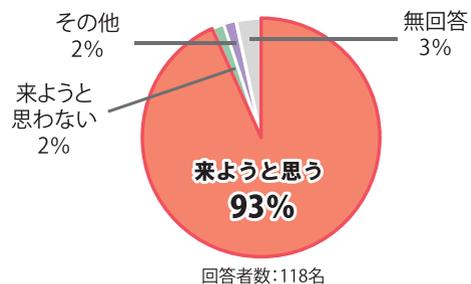


## 今年の参加者の声より

平成30年度 奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト アンケート結果より

参加者の93%が「また来たい」と回答!

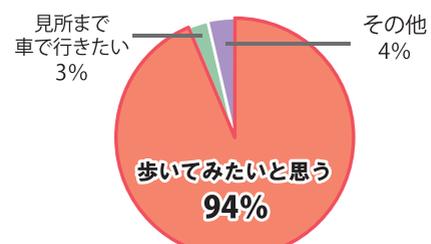
また奥入瀬溪流で通行自粛の呼びかけが行われたら、来たいと思いますか？



回答者数:118名

参加者の94%が「次も歩きたい」と回答!

また奥入瀬溪流に来たら、どのように楽しみたいですか？



回答者数:110名

※四捨五入しているため、構成比の合計が100%と異なる場合があります。

「車の少ない環境で、改めて溪流の良さを実感しました」  
「自然を守る・楽しむためには良い企画だと思う」など、  
奥入瀬を訪れる多くの方が、車の少ない環境での散策を  
望んでいることが確認できました。  
皆さまの参加が増えるほどに、溪流の環境が良くなります。

問合せ先

十和田市 青森県 国土交通省

担当部署：青森河川国道事務所 調査第二課  
TEL:017-734-4570 (平日9時～17時まで)

<http://oirase-seseragi.com/>




おいらせ  
奥入瀬  
せせらぎ体感プロジェクト  
2019.8/24(土)・25(日)  
午前10時～午後2時

期間中、奥入瀬溪流区間への車両の進入はお控えください。  
交通規制ではありません。皆さまの参加により、付近の安全性を  
高め、溪流の“音環境”を復元します。

十和田市 青森県 国土交通省

担当部署：青森河川国道事務所 調査第二課 TEL:017-734-4570 (平日9時～17時)

溪流沿いの遊歩道で、  
大自然の息吹を体感する。

日本でも珍しい、溪流と  
並んで歩ける景勝地です。

火山灰や軽石を素材に、自然が大地に一気に  
彫り上げた奥入瀬溪流。その流れはゆっくりと  
時間をかけて深い森林に覆われ、豊かな生態系  
をはぐくんできました。特異な成り立ちから、  
溪流の断面はU字型をしているため、遠く眺め  
るのではなく、真横の遊歩道を散策できます。  
急峻に、穏やかに、時に滝となって14kmをく  
だりゆく清流。五感を包む、忘れられない自然  
体験が待っています。

